

ハンググライディングノービスパイロット技能証課程 実技科目チェック表

習得判断基準: 3は教員の口頭試問。1、2、4～14は各科目3回成功

アミかけは実技検定科目(4、5、11または12、13、14)

科目	インストラクター署名欄			備考
	日付/署名	日付/署名	日付/署名	
1 ブローンハーネスへの乗り換え(該当する場合のみ) ・シミュレーターでの練習 ・練習場でのグラウンドハンドリング～ショートフライト ・パラシュートの使用方法の確認				
2 セットアップとプレフライトチェック ・地形と風に合わせて適切な場所でセットアップできる ・プレフライトチェックとハングチェックの確実な実施				
3 フライトプラン ・テイクオフ場の風向風速の判断 ・ランディング場の風の確認 ・インストラクターへのプラン説明				
4 周囲警戒と飛行決心 ・テイクオフ場周辺の風向風速と他機の動きを認識し、離陸のタイミングを決断できる				
5 テイクオフ ・無風(0m/s)～強風(5m/s)で安定したホールドができる ・地形と風に合わせて安全に離陸できる				
6 直線修正飛行[1] ・安定した風の中で目的地に向かって直線飛行ができる ・トリムスピードを確認できる ・ファスナーの開閉が安全にできる				
7 直線修正飛行[2] ・やや不安定な大気、サーマル発生時に、上昇風や下降風に合わせたピッチ・ロール操作ができる				
8 偏流修正飛行 ・3m/s 程度までのクロスウインドで、目標物に向かって直線飛行できる				
9 ランディングアプローチの準備 ・適切なタイミングでファスナーを開けることができる ・ベースバーからアップライトへの持ち替えが安全にできる				
10 安定した 90 度旋回と 180 度旋回 ・旋回の導入・維持・終了が滑らかにできる ・ピッチアップを抑えることができる ・体をねじらず平行に体重移動ができる				
11 ランディングアプローチ(8 の字) ・適切な位置で高度処理ができる ・適切なタイミングでファイナルターンができる ・様々な風向・風速に対しアプローチを調整できる				
12 ランディングアプローチ(場周) ・場周方向と同じ方向の360度旋回による高度処理 ・風向風速に合わせてダウンウインドレグ～ベースレグ～ファイナルターンの場所と高度を調整できる				
13 ファイナルアプローチ ・十分な長さの直線を取ることができる ・スタンディングフォームで適切に速度を管理できる				
14 ランディング ・ターゲット半径 30m 以内への安全な着地				
実技検定: 検定科目を実演し単独にて安全に安定した飛行ができる				